



---

# JAPAN REGION

---

Vol. 9, No. 3

April 1991

---

*“Learning*

*with Joy,*

*Doing*

*with Pleasure”*

識

る  
情

じ

み

# 目 次

## Contents

日本リージョン会長メッセージ .....	Japan Region President's Message	1
ITC会長メッセージ .....	ITC President's Message	2
ITC大会<ワシントンD. C. >へのおさそい .....	ITC Convention in Washington, D.C.	3
国際交流委員会 .....	International Relations Committee	4
ITCマガジンリエゾン委員会 .....	ITC Magazine Liaison Committee	4
第9回日本リージョン大会 .....	The Ninth Region Conference	5
RMT・CMT .....	Region Management Training・Council Management Training	5
プログラム・教育委員会 .....	Program-Education Committee	6
派遣員資格確認委員会 .....	Accreditation Committee	6
リージョン大会プログラム .....	Conference Program	7
大会準備委員会 .....	Region Conference Committee	8
おめでとうございます<堺東クラブ> .....	Congratulations! Sakaihigashi Club	9
カウンスルプログラム .....	Council Program	10
日本事務局だより .....	From ITC Japan Office	14
日本リージョン資料一覧表 .....	List of Educational Materials	15
社 会 参 加 .....	Participating in the Community	16
哀 悼 .....	In Memory	19
ニュース、編集後記 .....	News, Editorial Note	20



## 発想の転換

日本リージョン会長 広瀬 忠子

「糸偏に冬と書いて終わりなら、始まりという字はどうして糸偏に春と書かないの？」とは、今はスイスへ帰られた元阪神クラブメンバーのマダム・サタの思い出のなかのエピソードです。

絹ごし豆腐に蜂蜜とレモンをかけてデザートとして食べることも外国人メンバーから習いました。お豆腐はご飯のお惣菜として食べるものと思い込んでいた私にとって、デザートにもなると聞いたときは、ただびっくり仰天でした。

人間は一度思い込んでしまうとその転換は難しいものです。その点では、外国の方の頭には、豆腐に関しての先入観がないから自由な発想が出来るのでしょうか。

そこで、生まれてから今までを振り返ってみた時、今が一番年を取った私ですが、チョッと発想を転換して、前向きに考えてみますと、10年先の時点の私より今は10才も若いのです。

そうです!! 10年も素晴らしい未来がまだあるのです!! では、今から私に何が出来るのだろうか? 多くの可能性が考えられましょう。

せっかく ITC の訓練を受けている私達は、得たものを大いに地域社会活動に活かしたいものです。この号にはそうした方々を特集してみました。

ITC の訓練は奥の深いものであり、目的地にたどり着いてみるとまた新たな目標が現れてきます。私も社会活動の中で行き詰まった時には、“ITC ではどう対処するだろうか” といつも ITC の原点にかえて考えてみると道筋や手順が見えてくるのです。

国際情勢が緊迫している今こそ、コミュニケーションを通じて平和の為の相互理解が必要な時代と申せましょう。小さな事からでも何か始めてみませんか。

私はコミュニケーションは人間愛を基本とし、良識と礼儀をわきま常に温かで穏やかでありたいものと考えている一人なのです。

## Changing the Way of Thinking

Tadako Hirose, Japan Region President

“A Chinese character having the sense of winter means ending with the ‘thread left-hand radical’. Why doesn’t a Chinese character having the sense of spring mean beginning with the ‘thread left-hand radical’?” This is one of sweet episodes of Madam Sata, a former Hanshin Club member, who has gone back to Switzerland.

It was also from a foreign member that I learned to eat ‘kinugoshi tofu’ (smooth fine-grained bean curd) with honey and lemon juice for dessert. I was surprised to know that ‘tofu’ could be a dessert, because I had been eating it only as a side-dish for rice.

It is very difficult for us to change what we firmly believe. As far as the way of eating ‘tofu’ is concerned, foreigners can think quite freely because they have no preconceptions about it.

Here, looking back upon my bygone days, what I am now is the oldest. But, if I look straight ahead of me and change my way of thinking, I am ten years younger than what I will be ten years later.

Oh, yes! I have ten more wonderful years until that time. Then, what can I do from now on? There may be many possibilities.

We, who have been receiving so many trainings in ITC, should make good use of what we have gained there for the community. There are special feature articles of the members engaging in social service in this issue.

I think ITC trainings are profound. Even if we can arrive at a destination, there will appear another one. Whenever I come to a deadlock in my social activity, I go back to my starting point, asking to myself, “How will it be done in ITC?” Then I can see the way and the process to choose.

Now the international situation is so strained that we need to understand each other, aiming at peace through better communication. Let’s begin with whatever it is a small thing, shall we?

I am one of those who believe that communication is based on human love and I always want to use it warmly and gently, having good sense and manners.

## チームワークで頑張りましょう



I T C 国際会長 ジェラルディン・ライトフット

“Bits & Pieces” という月刊パンフレットにはチームワークについて次のように書かれています。

チームワークは人々に時間、労力、思考及び経済面での参加意欲を高めるために重要な役目を果たしています。それは共に来ることから始まり、発展して共に集うようになり、チームとして共に働くようになって成功と言えるのです。

チームの概念は我々のような大きな組織を運営する上での基礎ともなるべき重要なものです。

**ではチームとはなんでしょう？**

チームとは「相互依存」です。各選手はお互いに助け合います。もしチームが成功するなら選手全員が成功することになり、逆にチームが失敗するならメンバー全員が失敗するのです。従ってメンバー同士、互いの技術と知識を信頼していくことが大切です。

チームは刺激です。各個人の能力をはるかに越えると思われるような目標であっても、選手達の行動と態度はそれを達成するだけのより大きな努力をもたらす刺激剤となるのです。チームメンバーの各個人特有の特質や技術を最大限に生かす役割分担が大切です。

チームは楽しいものです。人は独りで居ることに恐れを感じ、友情、連帯感やグループとなって喜びを分かち合うのが好きなものです。

チームは組織的なものです。チームは選手から成り立っており、彼等が団結したときの結合力はその総合力を大きく上回るものとなります。

チームは文化です。お互いの個性や意見がぶつかり合うことがあってもメンバーは相互に作用しあい譲り合うことを学んでいるでしょう。個々の望みはより大きな目標の前には押えられますが、共通の目的が達成された時には、個々の目標も満足させられていることが分かるでしょう。

チームワークはよく言葉にはされますが、行っている人は誰もいないように思われます。しかし、チームワークは存在し得るのです。テッド・ケンパーは次のように話しています。「同じ特定の目標に向かって意欲的に働く人々のグループよりも強い力はこの世にはありません」

人は良いチームメンバーにならずとも良きメンバーにはなり得ます。では良きチームメンバーとなる要素は何でしょうか。

チームメンバーは忠実です。各チームメンバーとチーム全体に対する忠誠は必須です。従って各チームメンバーは個人的な好みは二の次にしてチームの決定を優先させなければなりません。

チームメンバーは自分に任されています。積極的にメンバーのことを考慮する立場で参加するか、或いは動議を通して側面から参加するか、我々一人ひとりにはチーム内の役割について選択をしていきます。積極的にかかわるメンバーは“差がつく”と言います。

チームメンバーは信頼できます。あなたへの尊敬は、あなたのことを失望を与える人ではないと信じている人数に比例するものです。あなたの言葉は契約であることを肝に銘じて下さい。

チームメンバーは目標指向である。地球を驚かすような目標である必要はありません。大股過ぎて躓くよりは、一歩ずつの目標に到達することのほうが大事です。

チームメンバーは専門家です。フランク・タイガーによると、「専門家的技術とは質の一貫性を意味します」。

チームメンバーは熱狂的です。ノーマン・ビンセント・ピールは「熱意は影響し、そしてすべてに影響を与えるということは大変に貴重な資質です」と書いています。

あなたは良いチームメンバーですか？ あなたは将来良いチームメンバーになるでしょうか？  
 良いチームメンバーとなって役割を果たし、良い影響を与えるようになって下さい。

参考資料：ロイヤル・バンク・レター“Bits & Pieces”一熱意は影響する一より

翻訳 加藤佳子(イースト神戸)

ITCコミュニケーター Jan./Feb. 1991. Vol. 6 No.3 P.1 掲載

## ITC大会<ワシントンD.C.>へのおさそい

ITC会長 ジェラルディン・ライトフット

第50回ITC大会が1991年7月21日から7月24日まで、アメリカの首都、ワシントンD.C.で開催されます。

ワシントンD.C.にはスミソニアン、舞台芸術のためのケネディ・センター、アーリントン国立墓地、ホワイトハウスなど歴史的意義のあるものがたくさんあります。

と一緒に首都での体験—“A Capitol Experience”—をするために、今すぐにワシントンD.C.への計画をお立てください。

### 1991年ITC大会日程一覧表

7月20日(土)	7月21日(日)	7月22日(月)	7月23日(火)	7月24日(水)
<u>登録</u> 7:00 a.m. ~ 7:00 p.m.	<u>登録</u> 7:00 a.m. ~ 12:30 p.m. 4:30 p.m. ~ 7:00 p.m.	<u>登録</u> 7:00 a.m. ~ 8:00 a.m. 10:30 p.m. ~ 12 noon 2:30 p.m. ~ 5:00 p.m.	<u>登録</u> 7:00 a.m. ~ 8:00 a.m. 11:00 a.m. ~ 12:30 p.m.	<u>登録</u> 7:00 a.m. ~ 8:00 a.m. 10:00 a.m. ~ 12 noon
<u>RMF Phase II</u> 8:45 a.m. ~ 5:30 p.m.	<u>礼拝</u> 7:00 a.m. ~ 8:00 a.m.	<u>ビジネス</u> 8:00 a.m. ~ 10:30 a.m.	<u>ビジネス</u> 8:00 a.m. ~ 10:30 a.m.	<u>ビジネス</u> 8:00 a.m. ~ 10:00 a.m.
<u>コミュニケーション</u> <u>ダイナミックス</u> 9:00 a.m. ~ 4:30 p.m.	<u>「国際レベルでの活動を なさいませんか」</u> 8:15 a.m. ~ 9:45 a.m.	<u>選挙</u> 10:45 a.m. ~ 12 noon	<u>トレーニングセッション</u> 11:00 a.m. ~ 12:30 p.m.	<u>トレーニングセッション</u> 10:30 a.m. ~ 12 noon
<u>アーリバード</u> <u>トレーニングセッション</u> 3:00 p.m. ~ 5:00 p.m.	<u>派遣員説明</u> 10:00 a.m. ~ 11:30 a.m.	<u>昼食会・エンターテイン メント</u> 12:30 p.m. ~ 2:30 p.m.	<u>昼食会・スピーチ</u> 1:00 p.m. ~ 2:30 p.m.	<u>昼食会・エンターテイン メント</u> 12:30 p.m. ~ 2:30 p.m.
<u>歓迎パーティ</u> 7:00 p.m. ~ 11:00 p.m.	<u>スピーチコンテスト委員会</u> 11:45 a.m. ~ 12:30 p.m.	<u>トレーニングセッション</u> 3:00 p.m. ~ 4:30 p.m.	<u>総会</u> 3:00 p.m. ~ 5:00 p.m.	<u>総会</u> 13:00 p.m. ~ 5:00 p.m.
	<u>開会式</u> 1:30 p.m. ~ 4:30 p.m.	<u>コミュニケーション</u> <u>ダイナミックス</u> 3:00 p.m. ~ 5:00 p.m.	<u>コミュニケーション</u> <u>ダイナミックス</u> 3:00 p.m. ~ 5:00 p.m.	<u>レセプション</u> (Cash Bar) 6:30 p.m. ~ 7:30 p.m.
	<u>次期役員</u> <u>候補者スピーチ</u> 4:30 p.m. ~ 5:30 p.m.	<u>スピーチコンテスト決勝</u> 5:00 p.m. ~ 7:00 p.m.	<u>ディビジョンミーティング</u> 5:15 p.m. ~ 6:45 p.m.	<u>役員就任式・晩餐会</u> 7:30 p.m. ~ 10:00 p.m.
	<u>スピーチコンテスト予選</u> 7:00 p.m. ~ 9:00 p.m.	<u>レセプション</u> (Cash Bar) 8:00 p.m. ~ 8:30 p.m.	<u>フリーイブニング</u> Have Fun!	<u>役員のレセプション</u> 10:00 p.m. ~ 11:00 p.m.
		<u>晩餐会エンターテインメント</u> 8:30 p.m. ~ 10:30 p.m.		

ITCコミュニケーター Jan./Feb. 1991, Vol. 6 No.3からの抄訳

国際交流委員長 鈴木 みつ子

当委員会では ITC 大会へのツアーを二通り計画しておりましたが、湾岸戦争勃発で一応白紙に戻しました。さいわい戦争も終わりましたので、この号には間に合いませんでしたが、あらためて二通りのツアーを計画し、後日各カウンスルにお知らせいたします。

---

---

ITC マガジンリエゾン委員会

ITC Magazine Liaison Committee

---

---

あなたの世界をわかち合いましょう

ITC マガジンリエゾン委員長 E・ジーン・ターナー

世界中の会員には、文才豊かな方がおおぜいいらっしゃいます。その中には作品を出版した著述家あり、新聞記者あり、あるいは、同様の仕事をお持ちの方もいることと思います。また、才能を持っていてもその使い道がないと感じていらっしゃる会員もおられることでしょう。

あなたの専門がどんな分野でもかまいません。ITC コミュニケーターに寄稿をお願いいたします。

世界中にひろがるコミュニケーターの読者にふさわしい題材でしたら、どのような記事でも歓迎いたします。寄稿案内は、毎号の ITC コミュニケーターに記載されています。特に教育的な記事を求めています。それに限らず会員に興味のある記事もお寄せ下さい。

才能を発揮しながら他の多くの会員とあなたの世界をわかち合いましょう。

---

呼びかけについて

「議長への呼びかけについて、カウンスル No. 2 のバスカム議会法規役員が ITC のマクレランド議会法規役員に問い合わせの手紙を出されましたところ、次のようなお返事が届きました」と、カウンスル No. 2 会長 羽尾則子さんが知らせて下さいました。

私たちが議長に呼びかける理由は、ご存じのように発言する許可を得るためです。しかし報告や議事録を朗読するように頼まれる時には、議長はすでに許可を与えています。ですから、「マダム / ミスター プレジデント」と呼びかける必要はありません。けれども、報告や、議事録を読み始める前に、「マダム / ミスター プレジデント」と呼びかけても間違いではありません。ただの挨拶のようなものです。

ふつうは、トピックリーダーにも、また聴衆にも呼びかける必要はありません。しかし、私の意見ではそうしたからといって、とがめられるものではありません。

第9回 日本リージョン大会  
The Ninth Japan Region Annual Conference

1991. 6. 12 - 13

日本リージョン会長 広瀬 忠子

第9期大会コーディネーターの八木美恵子さんは、ご病気静養のため辞任を申し出られました。役員会では1日も早いご回復を願って受理いたしました。

大会に向けて後半のコーディネーターを杉山満佐子さん、コ・コーディネーターに江藤万里子さんを任命いたしました。(共に関西クラブ)

大会コーディネーター 杉山 満佐子



季節の移り変わりは早いもので、陽春の光をうけて六甲の山なみも芽ぶきの頃を迎えようとしています。今年もまた6月に開催されます第9回日本リージョン大会まで、あと50日余りとなりました。ホステスカウンシルNo.3のメンバーは、おひとりでも多くの会員とゲストのご出席を心よりお待ちしております。皆様のご参加で華のある盛り上がりのある大会となりますようにとの願いをこめて準備をすすめております。

宝塚へお出かけの手続きはもうお済みでしょうか。登録・食事・ワークショップ・宿泊の申し込みはお済みでしょうか。4月15日が締切日です。

このカラーページには各委員長からのお知らせや、願いを掲載いたしましたので、お見落しのないようにごらん下さいませ。

では、6月12日、宝塚ホテルでお会いするのを楽しみに!

---

RMT・CMT

Region Management Training  
Council Management Training

---

次期会長 常田 道子

リージョン大会開会の前日に、RMT(リージョン・マネージメント・トレーニング)、CMT(カウンシル・マネージメント・トレーニング)のプログラムが組まれています。RMTはリージョンの、CMTはカウンシルの次期役員・委員長を対象として行われる運営研修のことをいいます。

ITCはすべてのレベルの役員、委員長の研修に力を入れていて、RMTは最低4時間、CMTは8時間(年間)をすることになっています。本来の目的である会の運営、リーダーシップ、コミュニケーションの訓練をより効果的にするために、そして、その活動を活発にするために最も必要とされるからです。

1年を任期とする役員や委員長にとって、これから取り組もうとする任務は未知の魅力に満ちたものでしょう。大きな期待と抱負、そして少しの不安を持たれるかもしれません。新しい任務につく前に、より多くの情報と前任者からの提言が得られれば、どんなに勇気づけられることでしょう。また、組織としての取り決めや伝達方法などについてよく知ることは、きちんと運営しよく機能するために大切なことなのです。それらの知識が得られるのがRMTであり、CMTです。

役員、委員長になるということは、これらの研修会への出席が義務づけられていることを自覚して下さい。

また、研修リーダーになるということも得難い経験になります。人に何かを伝えるためには先ず自らがよく学ばねばなりません。とても重い役目ですが与えられるものも大きいといえましょう。

情報交換や意見の交流の喜びも大いにあります。どうぞ楽しんでご参加下さい。

第一副会長 白江 圭穎子

今はもう4月、宝塚駅から大劇場までの通称“花のみち”の桜も満開となり、すみれも可憐に咲き競い精一杯皆様に誘いかけているかのようでございます。

さて、前号6頁のリージョン大会プログラム予定表は時間と内容に多少の変更を行い、次の様にいたしました。

○大会前日のCMTは30分延長し3時間行います。従って、午後のRMTの再開と閉会が30分ずつ繰り下がります。

○ビジネスセッションの審議が必要に応じ下記のように加えられます。

- ・第2日のビジネス再開 8:30～9:15（派遣員、「宝寿」の間、一般参加自由）
- ・更に第2日の昼食時間にも審議できるように予定しています。

その場合派遣員は新館3F「琥珀」の間で昼食をして下さい。参加を希望される一般会員もこの部屋で昼食なさるとよいでしょう。

限られた大会スケジュールの中ですが、今回はO・H・P（オーバーヘッドプロジェクター）を用意しましたので効果をあげてくれるでしょう。また、審議の時間はできるだけ用意しています。そして、楽しく刺激的なプログラムを時間内で納めようと新しい試みをしてみました。

例えば晩餐会のエンターテインメントをITCコンベンションのようにディナーショーにする工夫や、各カウンスルの特徴やエピソードをライトアップしワンポイントインタビュー形式にするなどです。（カウンスル会長報告は時間の関係上大会誌でこの一年の業績を発表して頂きます）

すべての会員のためのこの大会が“CHOOSE TO MAKE A DIFFERENCE”をよく反映したものになればと希いつつ努力していますのでどうぞ協力下さいませ。

◇前号では空白になっていた特別ワークショップ（リーダー：ルビー・ムーン様 日・英）。

B-1 題目：あなたにも教育（エデュケーション）ができます。

どなたにもクラブやカウンスルで教育を準備し、発表することができます。

参加者は、さまざまな長さの教育を準備して、それについて話し合いをします。

[B-1] Title: You can present an education session

Anyone can prepare and present an education session at their club or council.

Participants will prepare and discuss education sessions of various lengths using the same topic.

リージョン派遣員への注意事項

派遣員資格確認委員長 松下 えん

I. 当日持参するもの

1. 委任状書式の下半分。貴クラブの納めた会費（ITC・リージョン・カウンスル）を記入する。
2. 「日本リージョン会則」と修正案

II. 当日の手続き

1. 大会第1日（6月12日）8:15～8:45 派遣員説明室（新館3F「シルバー」）前ロビーで資格確認。委任状の下半分を提出、確認を受け登録し、署名、クラブ会員数を記入。
2. 大会第2日（6月13日）8:15～8:25 新館6F「宝寿」前ロビーで出席の確認を受ける。
3. 2日目に代理人と交代する時は必ず申し出ること。代理人は1日目の説明会に出席し説明を受けること。

III. リージョン会則をよく読み、修正案が出されている場合は、各自クラブの意見をしっかり持って出席すること。議事法を心得て議事の進行に協力すること。

第9回日本リージョン大会プログラム  
Japan Region 9th Annual Conference Program Plan

宝塚ホテル  
Takarazuka Hotel

6月11日(火) June 11 (Tues.)		
9:45~10:00	RMT登録受付(RMT会場前)	RMT Registration
10:00~12:00	リージョンマネージメントトレーニング	Region Management Training
11:45~12:15	CMT登録受付(CMT会場前)	CMT Registration
12:15~13:00	昼食	Luncheon
13:00~16:00	カOUNSルマネージメントトレーニング	Council Management Training
16:15~18:15	リージョンマネージメントトレーニング	Region Management Training
6月12日(水) June 12 (Wed.)		
8:30~ 9:45	登録受付	Registration
9:00~ 9:45	派遣員説明	Briefing for Delegates
10:00~	開会式	Opening Ceremony
10:40~12:00	ビジネス ITCインフォメーション	Business, ITC Information
12:00~13:00	昼食	Luncheon
	選挙(派遣員のみ)	Election (Delegates only)
13:10~14:30	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
~14:40	選挙結果発表	Election Report
15:00~16:30	教育セッション A) 外部講師3部門 B) 会員リーダー3部門 (ITC公式訪問役員による特別ワークショップ他)	Education Session A) 3 Workshops (Guest Speakers) B) 3 Workshops (Members) (Workshop by ITC official visitor and other workshops)
17:00~17:20	晩餐会 受付	Banquet Registration
17:30~ ~20:30	晩餐会、表彰、余興(ディナーショー)、 カOUNSル会長ヘインタビュー、役員就任式	Banquet, Awards, Entertainment, Interview, Installation
6月13日(木) June 13 (Thurs.)		
8:30~ 9:15	ビジネス審議再開(派遣員)	Business re-opened (Delegates)
9:00~ 9:25	登録受付	Registration
9:30~10:30	ビジネス	Business
10:50~12:20	教育セッション C) 外部講師2部門 D) 会員リーダー4部門 (ITC公式訪問役員によるオープンフォーラム他)	Education Session C) 2 Workshops (Guest Speakers) D) 4 Workshops (Members) (Open Forum by ITC official visitor and other workshops)
12:30~13:30	昼食 ビジネス審議再開(派遣員)	Luncheon Business re-opened (Delegates)
14:00~15:50	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:50~	報告 クロージングソート	Announcements, Closing Thought
~16:30	閉会	Adjournment

注・CMT, RMTの時間延長しました。

・ビジネス(審議)が必要に応じて加えられます。関係者は特にご注意下さい。

(第2日目 8:30~9:15 12:30~13:30)



登録委員長 上島晴美

登録の申し込みはもうお済みでしょうか。取消や変更は5月12日まで受け付けますが、それ以降の取り消しは返金できません。

止むを得ず欠席なさる時も、必ずリージョン派遣員を通じて、クラブ名を明記して葉書で登録委員長へ届け出て下さい。決して当日無断欠席をなさいませんようにご協力下さい。

急な場合のみ、電話にてお受けします。

〒664 伊丹市北本町1-127 上島晴美(関西クラブ)電話0727-84-5386  
大会当日の登録は、新館6F「宝寿」前ロビー。派遣員のみ、新館3F「シルバー」前ロビー。



名札・リボン委員長 塩田百合子

今年度リージョン大会では、皆様がクラブ例会でご使用の名札を、各自持参、使用して頂くことに決めました。

クラブ名と氏名(姓、またはフルネーム)がよく見えるよう、はっきり書かれた名札をお持ち下さい。役職名などのリボンは、当日それぞれのキットに入れてお渡しいたします。

簡素化への試みに、皆様のご協力をお願い申し上げます。



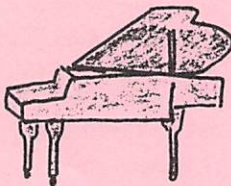
ホスピタリティ(本部室)委員長 村上美耶子

ホスピタリティ・センター(本部室)として、新館3

F「椿」の間を用意しています。連絡、休憩、などにお

使い下さい。晩餐会のお召し替えは、同じく3F「着替室」でどうぞ。貴重品のお預かりはいたしませんのでホテルにお預け下さいますように。

裁縫用具、アイロン、家庭薬、冷たいお水、熱いお湯なども置いてお越しをお待ちしております。



エンターテインメント委員長 鷺見美千子

今大会の会場は宝塚ホテルです。全国からたくさんのお客様が関西の名所ともいえる宝塚にお集まりになるのですから、エンターテインメントも宝塚の雰囲気の出るものにしたいというのが、リージョン会長はじめプログラム

委員長、コーディネーターその他多くの方々のご意見でした。さいわい、しらさぎクラブに宝塚歌劇出身の植村憲子さんがいらっしゃいますので、お願いしました。

15分から20分くらいのディナーショーです。ホステスカウンシルの会員でエンターテインメントを行えますことを、この上なく嬉しく思っております。皆様おたのしみに。

おめでとうございます

堺東クラブ

認証番号 3509

堺東クラブ会長 西本 澄子



堺東クラブは3月5日おごそかに、なごやかに、盛大に認証式を終えました。そして、そこではまた新しい出会いの場を与えていただきました。

私たちはあらゆる出会いの場で「語り合う」ことをテーマにしてITCの目標に向かって励むつもりでございます。

さあ出発です。メンバー30人の叡智はすべてに優る宝石です。

私たちは、この宝石がもっともっと光り輝くことを願って一歩ずつ着実に歩みたいと思います。

日本リージョン今期のテーマ「識る喜び 行方楽しみ」を心に刻んで臆せず実践したならば、今までとは違った自分を発見できることでしょう。

それを楽しみに月1回の例会を大切にしていまいます。

先輩の皆様、今後とも私たちに暖かいご指導をお願い申し上げます。



語らい

原田和子  
堀口代子  
白根子  
岡本子

山元 桐子  
元林 淑子  
山崎 美子

坂本 幸子  
森井 鶴子  
島野 美恵子  
志口 英子

平山 栄子  
乙木 圭子

田中 征子  
碓石 真子  
井田 すみ子

田中 ヨシ子  
遠藤 美子  
梶川 祝心  
寺下 震子

古庄 武澄子  
西本 澄子  
別本 紀子  
別本 澄子

今尾 嘉子  
尾上 白子  
井上 心子  
江口 代子

坂本 英子  
西村 敦子  
藤光 悠紀子

大塚 幾子  
長谷川 充子



カウンスルNo.5 会長と増設委員の方々

各カウンスルプログラム・教育委員長の方々に、2回のカウンスル例会のうちのひとつのプログラムを取り上げて、そのねらい、実行、成果、反省、反応を、自賛をこめて書いていただきました。

コロキー & フォーラム「地球クライシス・Think Globally, Act Locally」

カウンスルNo1 プログラム・教育委員長 近藤みほ子

常にレベルの高いプログラムが要求されるカウンスルNo1の第2回例会では、大きな社会問題となっている地球環境問題をコロキーの討論形式を通じて研究した。

プログラムのねらいは— 1.コロキーの学習と環境問題を様々な側面から研究する。2.一人ひとりが問題意識を持ち、知識としてだけでなく行動にまで発展させる。—である。

当日はコロキーの教育の後、環境庁の講師による基調スピーチ（コロキーの特徴である専門家による情報及び専門知識の提供）、続いてパネルディスカッション（コロキーの基本形式）を行った。まずこの問題を、1.自然保護論者、2.日本企業代表者、3.開発途上国代表者、4.主婦代表の4つの側面から捉え、夫々の観点で問題提起のスピーチをした後、討論に入り、温暖化を中心にその対策と、後半では身近なところから何をすべきかを話し合った。ここでは専門家は討論に加わず、疑問点が生じた時、随時それに答えるのみである。フォーラムの後、講師から私達への提言及び感想が述べられた。

プログラム参加者は昨年10月より膨大な資料を研究し、専門的なシンポジウムにも参加して真剣にこの問題に取り組んできた。その成果は講師からも会員からも大いに評価を受けた。「知識と共に、山が丸裸になっていく、鳥が油まみれになっていく様を目にして、こういう事があってはいけないと思う感性を持つことが環境問題と取り組んでいく大切な姿勢である」との講師の言葉に深く共感すると同時に、これを知識レベルだけではなく、今後ITCでもいかに行動レベルにまで発展させていく事ができるかが大きな課題であると痛感した。満足度100%の充実した一日であった。

10周年をはなやかに

カウンスルNo2 プログラム・教育委員長 川口敬恵

カウンスルNo2は1月例会で10周年を祝いました。

プログラム・教育委員会は全員参加で印象に残るプログラムにしたいと、独創的なファッションショーを企画しました。テーマを「はなやかに表現」として、ITC教育資料No521“FASHION COMMENTATING”を参考にして、クラブ毎に解説の仕方とファッションのセンスを競ってもらいました。リージョン大会における会長行進、スピーチコンテスト出場、晩餐会の3場面を8分でまとめてコメンテーターがファッション解説をしました。当日くじで発表の順番を決め、モデル達もあらかじめ着替えて着席し、会場の出入りをしないで行いました。プログラムリーダーのクラブ紹介のあと、バックミュージックにのってモデル達が登場し、コメンテーターはそれぞれのクラブの特色を出して個性的に解説しました。さすがにITC!! どのクラブも8分前後にまとめてあり、優劣をつけ難い内容でした。総合練習もしないのに大成功だったのは、メンバーの皆様の力によるものです。

年末年始の忙しい時期に準備しなければならないプログラムでしたのに、積極的に前向きに取り組み参加して下さいました。その結果、ITC資料をひとつ勉強出来、クラブ毎に協力して準備し、はなやかに表現して紹介することができました。新しい試みにチャレンジすることにより引き出される潜在能力のすばらしさを当日の出席者は実感し、楽しまれたことと思います。今後、ますます向上し活躍できる!! 皆様が自ら証明されたプログラムでした。

## プログラムを通して

カウンスル№3 プログラム・教育委員長 仁熊愛子

今期、カウンスル№3のプログラム・教育委員会は、「簡素に、そして楽しく」というテーマに基づいて、プログラムを計画・実行している。無駄を省いた教育及び、トレーニングとは難しいが、訓練の場であるITCにおいて会員が自己啓発し、どのような手段によって目的を果たすかを考えている。目的とは教育であり、様々なプログラムはあくまでも、その手段であると思う。また、各クラブで訓練を受け、カウンスルでその成果を自己評価することをねらいとして、2つのプログラムを企画した。

各クラブ会長協力のもとで、カウンスルプログラムに参加したことのない会員に参加していただき、第1回はパネルディスカッションをし、第2回は会員の希望に基づく講演を実施した。第1回に関しては、ITCにそったテーマを選び聴衆の興味を引き付けるよう、パネリストに呼びかけをし、準備が進められた。パネリストとモデレーターのテーマに対する理解度(プログラム運営のキーポイント)が深かったため、有意義であった。第2回に関しては、女性の生き方として「心豊かな人間関係をつくる」をテーマに、高木慶子先生を講師に迎え、講演後はディスカッションからフォーラムへと流れをつくり、講演者と聴衆を一体化させることをねらいとした。組織の中でこの講演を聴き実践できれば、今後ITC運営にも大きな成果が見られると思う。

## 「アイデア交流」……バズセッション

カウンスル№4 プログラム・教育委員長 山田ミユキ

実施日：1990年10月25日 場所：別府

### A. プログラムの目的

- 1) クラブ委員会活動の活性化
- 2) クラブ間の委員会ネットワーク作り
- 3) 遠距離メンバーの交流

### B. 実行のプロセス

- 1) バズセッションのテーブル数決定
- 2) 出席者の参加テーブル希望受付
- 3) テーブルリーダーの依頼
- 4) 当日、バズセッション終了時、意見交換の結果を発表

### C. 成果

コミュニケーションは恋愛と同じです。

言葉を交わす時間と回数が大切です。日本のコミュニケーションの理想「あ・うん」や「以心伝心」は、このプロセスを経た到達点と思います。

カウンスル№4は、交通費、1人あたり19,060円の経済的・時間的苦難を乗り越えて、個と組織のコミュニケーションをはかっています。

今回のバズセッションは、コミュニケーションの基本とは、顔を合わせて言葉を交わすことだと実感させるものでした。

## 「ディベートコンテスト」を終えて

カウンスル№5 プログラム・教育委員長 中村 博子

プログラム内容に“クラブ対抗”を組み込めば、メンバーがエキサイトできるのではないかと思いい、ディベートコンテストを第2回例会に取り上げてみた。新旧、差のあるクラブが同じレベルでは、と少々心配であったが、新しいクラブにも力のある人が多いのだから、個人プレー的要素があれば大丈夫と考えた。そこで、各クラブにプログラムとしてディベートを組み入れていただき、コンテストに向けて練習してもらった。

当日の出場者は、各クラブから推薦された1名の立論者と反論の時の相談相手の計2名を1チームとして戦ってもらうことに決定。命題は各クラブから3つほど募り、その中から選んだ。テーマの発送は4週間前としたが、あいにく年末年始にかかり、主婦であるディベーターにとって多忙の時期と重なった。しかし、このコンテストにかける各クラブの意気込みには驚くべきものがあった。

残念なことに1クラブから棄権の申入れがあり、7クラブが2チームずつの対戦となるので不戦勝が1つできた。2回戦で優勝クラブを発表してもらうことにした。

対戦相手はすべて当日の抽選で決めた。偶然にも1回戦の肯定チームが2回戦では否定チームになるなど、賛否両論を見事に使い分け、限られた時間内で議論は白熱化し、メンバー全員が聴きいるその雰囲気は真剣そのものであった。

優勝クラブの選出には難行!! その間のマジックショーの歓声!!

プログラム委員会の企画を大いに自負したことでした。

## 広報コンテスト

カウンスル№6 プログラム・教育委員長 永井 由美子

今期カウンスル№6のプログラムは、すべて「コンテスト」を予定しています。8月に各クラブ会長宛にアンケート用紙を送り、プログラムに対する要望をまとめました。まず第1に、各クラブのより多くの会員がプログラムに参加でき、他クラブの会員とより多く知り合えること。第2に、各クラブが一致団結して、1つのプログラムに取り組めること。第3に、楽しいプログラムであること。これらの3点を考えて、第1回目は、「広報コンテスト」、第2回目は「儀典コンテスト」でした。ここで、「広報コンテスト」をどう実行し、その成果はどうであったかお話ししましょう。

各クラブでの出場者数は自由。どのクラブがもっとも効果的に「ITC」を全然知らない人々にPRできたか。また、どのクラブがもっとも「ITC」に入会したいという気持ちにさせたかの2点が審査の対象となりました。どのクラブも練習を重ね、全会員出場したクラブもあれば、数人出場のクラブもありました。それぞれにアイデアをこらし、6クラブとも燃えて、大変に盛り上がったコンテストとなりました。場内の会員も、笑いと共感で熱がこもっていたと満足しております。

## 講演「世界を見る、地方を知る」

カウンスル№7 プログラム・教育委員長 三枝 瑠子

第1回カウンスル例会は5つのワークショップでした。白江リージョン第1副会長に1つ担当していただきましたが、他の4つは会員がリーダーとなり、5つに分かれて勉強しました。そこで第2回は外部から講師を招いての講演としました。講師は時の人。テレビ、新聞、著書などで皆様ご存じの島根県出雲市長の岩國哲人様です。

岩國市長にお願いした理由は……まず、世界最大の証券会社の米国本社副社長という要職を投げうっての帰郷、ユニークな発想と施策は有名で、かねて是非お話をお聞きしたいと思っていたこと。また、奥様がITCのメンバーなので、ITCを理解していただいているということです。

国際的視野で見ることのできる岩國市長の講演は「世界を見る、地方を知る」と題して、長い外国生活の経験をふまえての示唆に富んだ日本観から、現在の地方の市長という立場でのすばらしいアイデアと行動に及びました。「行政は最大のサービス産業」という考え方は、すっかり有名です。一部スライドも利用し、熱意とユーモアのある講演は大変興味深いものでした。

例会ごとに各クラブ2名ずつに評価用紙を配り、提出してもらいますが、講演は好評で、「国際人的考え、行動力はITC会員として勉強になり、有意義だった」「のんびりと聞き手にまわるのもたまには良い」などとありました。また、当日はITC会員以外の方で、岩國市長のお話を聞きたいと沢山参加されたことは、ITCのPRにもなったことと思います。

## 思いきってディベートにしました

カウンスル№8 プログラム・教育委員長 柴田 ひさ

チャーター歴の長い東京クラブと若い東葛クラブは双方共日本語ですが、クラブでのディベート経験は様々です。7クラブ中、英語クラブの方が多く当カウンスルでは日本語のディベートをクラブレベルで体験している会員は限られます。

新しいカウンスルのプログラム・教育委員会は意欲的でした。第2回例会のねらいは、クラブに持ち帰ってできるプログラムとしてのディベートでした。沢山の論題の中から「総理大臣は女性になるべきである」をオーソドックス式で、「女子大は廃止すべきである」をクロスイグザミネーション式で行いました。麗沢大学の谷口茂先生をジャッジにお迎えし、講評もしていただきました。先生の奥様はITC会員で、先生もこの組織をよく理解して下さいます。

英語で行ったら後味がさっぱりしているのに日本語の場合は今ひとつという声がありましたので、先生にはディベートのゲーム的要素をお話し願いました。またこれは日常のクラブ例会での総評の姿勢にも通じると考え、委員会が重視した点です。

年末年始をはさみ1月中旬の例会にそなえるのは準備の面で、働いている人にはまとまった時間がとれる利点と、主婦には小間切れ時間しかないという不利な面とがありました。

日曜の午後を使っての半日例会という新しい試みの中で持たれたこの内容は十二分とはいかぬまでも成果を収めたというのが反省会での評価でした。論題が2つ共女性に偏ってしまったのも再考の余地有ります。何よりも嬉しいのは数々のクラブで早速、今期後半のプログラムにディベートが取り上げられることになったのと、また来期もカウンスルでディベートをやりたいという希望がかけられる点です。

## 出版からのご案内

出版委員長 徳橋 八重子

日本リージョン出版物は、参考資料、教育特集共に種類が増えて、現在ではITC本部発行の主な資料の大部分の邦訳が出版されています。

最近の改訂版、新出版をご紹介します。

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| ◎ A 3 標準リージョン会則                   | ご要望によって初めて出版しました。これで各レベルの標準会則が揃いました。   |
| ★ B 1 資格認証課程                      | 以前よりずっと読みやすく改訂しました。  |
| ★ B 9 カウンシル役員と委員会マニュアルとプログラムの概略   | ”  |
| ▲ B 22 ワークショップの様式                 | “ワークショップの様式について”と、評価、プログラム、会員、委員会、教育の各ワークショップのための概略が書いてあります。   |
| ★ C 8 教育委員長のための教材                 | 項目ごとにカタログ番号で、関連する資料を紹介してあります。  |
| ◎ C 47 クラブ教育—会計監査                 | 難しい会計監査の役目もこれで楽になります。  |
| ◎ C 48 新入会員導入式                    | 導入式の任務がはっきりし、良いアイデアなど得られるでしょう。   |
| ▲ C 49 語彙研究者の教え                   | この教育特集を読んで、皆さんが語彙研究者になって下さい。言葉の起源や意味をとおして、語彙が豊かになります。  |
| ◎ C 50 運営手段—対立を乗り越えて(ワークショップ概要付き) | 対立した意見を的確に把握し、それに対処する5つの主な方法など。きっと会員の方々のお役に立つと思います。  |
| ▲ C 51 会員補充と保持                    | 会員の補充と保持を計画的にする方法が参考になります。   |
| ◎ C 52 ファッション解説                   | ファッション解説は、簡潔な情報を織り込む能力と、観衆を熱中させ期待させる能力を養う機会になります。<br>ITCの訓練の本質を経験することができるでしょう。<br>・資格認証課程の22ページ、コースIVクラブ活動の選択の中にも、“ファッションショーをコーディネートし、解説する”という項目があります。 |

日本リージョン資料一覧表

List of Educational Materials

ITC.....本部資料番号

JR.....リージョン資料番号

1991. 2.1 資料役員

品番		単価 (円)	品番		単価 (円)
ITC	JR		ITC	JR	
<b>A 会 則</b>					
★201	A 1	250	530	C23	250
★202	A 2	250	533	C24	250
◎203	A 3	250	562	C25	250
	A3-a	250			
	A3-b	250			
	Region Bylaws & Standing Rules (Eng)		569	C 26	100
★204	A 4	250	572	C 27	200
	ITC会則(国際)		558	C 28	500
	B 参考資料		538	C 29	250
★101	B 1	1,000	508	C 30	300
118	B 2	2,000	549	C 31	300
102	B 3	1,000	585	C 32	250
121	B 4	650	579	C 33	200
	クラブ役員マニュアル		583	C 34	300
	B 5	650	586	C 35	300
★108	B 6	350	557	C 36	300
110	B 7	500	571	C 37	500
123	B 8	700	505	C 38	500
★129	B 9	1,000	518	C 39	1,000
	B10	250	528	C 40	350
	B11	200	540	C 41	500
103	B12	800	548	C 42	300
112	B13	500	566	C 43	350
113	B14	1,200	576	C 44	250
117	B15	1,200	529	C 45	350
125	B16	800	◎509	C 46	200
126	B17	400	◎532	C 47	200
111	B18	1,000	▲541	C 48	350
	B19	650	◎543	C 49	350
124	B20	650	▲544	C 50	350
122	B21	650	◎521	C 51	350
▲116	B22	650		C 52	250
	C 教育特集		D 物品・事務用品(ITCマーク入り)		
519	C 1	100	D 1	700	
	C 2	500	D 2	350	
527	C 3	700	D 3	100	
503	C 4	300	D 4	300	
510	C 5	500	D 5	600	
511	C 6	250			(透かし入り)
516	C 7	300	D 6	300	
★536	C 8	300	D 7	200	
526	C12	300	D 8	200	
542	C13	250	D 9	200	
567	C14	250	D11	200	
556	C15	300	D12	200	
547	C16	250	D13	300	
545	C17	300			感謝状
514-A	C18	200			表彰状
514	C19	300			マーク入りカード(封筒付)
	C20	250			本部建物画カード(封筒付)
515	C21	200			
	C22	300			

◎印は新しく出来た資料です

★印は改訂された資料です

▲印は近日発売

私も会員は、ITC宣言にうたわれているように“よりすぐれた意思の伝達を通じて、世界中の相互理解の促進を願い、指導力の養成と話し方の向上に積極的に努力”しています。

そのためのトレーニングの種類は多様です。リーダーの心構え、話し方・書き方の訓練、会合の開き方、議事規則の習得、討論の方法、会計の処理、儀典や礼儀、立ち居振る舞い、そして楽しいお遊びの数々まで……。

トレーニングは、委員会で、役員会で、例会で、大会で行われますが、それだけではありません。ITCでは、政治、経済、人種、宗教等のような話題にも偏見のない自由で公明な意見の交換が奨励されていますし、魅力的な会員同志のふれあいによって、会員の知性、感性（おしゃれも含めて！）はさらにみがかれます。

そのようなトレーニングの数々を、「ただ受けるだけではなく、地域社会のお役にたとうではありませんか」という日本リージョン今期の目標を受けて編集部では、ITCでの勉強を活かして社会参加をしていらっしゃる会員の方々の情報を求めましたところ、たくさんお寄せ頂きました。誌面の都合でつぎのようにまとめてみました。協力下さいました皆様、ありがとうございました。

### 「話し方教室」の試み——九州クラブ

スピーチコンテストのジャッジを館長にお願いしたのがご縁で、別府市の公民館で「話し上手、聞き上手」の講座が開かれることになりました。主催は公民館。受講者は大多数熟年層の婦人（当初、男性2～3名。残念ながら途中で消えてしまいました）で、講師は九州クラブの会員です。

- |     |       |          |        |                        |
|-----|-------|----------|--------|------------------------|
| 1回目 | 1988年 | 年6回      | 受講者37名 | 「話し上手、聞き上手」            |
| 2回目 | 1989年 | 前後期10回ずつ | 34名    | 「話し上手、聞き上手。各種スピーチのあり方」 |
| 3回目 | 1990年 | 年5回      | 34名    | 「話し上手、聞き上手。議事運営の仕方」    |
| 4回目 | 1991年 | 年5回(予定)  |        | 「話し上手、聞き上手。朗読の方法、など」   |

企画の段階から数回、ひろしまクラブの会員が駆け付け世話をし講座に花を添えて下さり、感謝感激でした。

2回目はNHKやTOSのプロの方々に12回ほど指導していただきました。

皆勤者が何名か出たのもうれしいことでした。

3回目は、短期5回とし、今までの内容を濃縮して会員のみで行いました。

今年度も要望され引き続き内容を検討中。他の公民館からも依頼がきています。

ITC会員として役員会が中心となり、ITCの理念に従って運営し、トピックスを取り入れ、ゲーム感覚で楽しく発言できるようにしました。

会員自身のよい勉強の場になりました。

3年も続いたのは予想外の結果で、ITCが少しずつ認められつつありうれしく思っています。

受講生の中から数名が、九州クラブに入会、活躍していらっしゃいます。

ITCや友達の輪が広がり、この試みが有意義であることが証明され、会員一同マンネリにならないよう、年ごとにフレッシュな気持ちで取り組んでいきたいと願っています。

カウンスルNo1第3回例会のご案内が、ごくうすいペーजूの「再生紙」にコピーされて届きました。No1では、「地球環境問題」を第2回例会で研究され、その成果を「知識としてだけでなく行動にまで発展させる」(p.10)ことを、できることから実行していらっしゃるのです。

## I T Cのトレーニングを活かして — 柏クラブ

私たちのクラブは設立以来、社会参加の機会が与えられ、I T Cの会員としてそれぞれの活動に参加してきました。設立会員の約半数が、市の姉妹都市活動の関係者で、その活動が期待されてのスタートだったのです。

姉妹都市交流の一環として派遣団、合唱団が市を訪問された時、通訳ボランティアとして、その活動をサポートする機会を得、I T C活動を認められました。

その後、当クラブから「第15回交換派遣青少年」の団長が選出されました。初めての主婦の起用ということで姉妹都市委員会では、少なからず不安があったようですが、無事に大役を果たし、I T Cの活動を更に深く理解してもらうことができました。

以後2年続けて団長が当クラブから選出され、任期終了後も経験者として歴代の団長をまとめ、活動の活性化を促し、姉妹都市活動の一翼を担っていることも評価されています。リーダーシップがよくとれる、英語でのコミュニケーションができる、スピーチの心得がある、などが好評の理由です。

個人的には、市の諮問機関や委員会、ボランティアグループの一員として活動しています。その中でI T Cの技術を活かして会員教育を行ったり、I T Cの訓練方法を紹介したりしています。

それが、県内20分番組としてテレビで取り上げられたことがきっかけとなり、2人の会員にテレビ局からインタビュアーの依頼があり、任を果たしました。

地域においても、P T A・婦人会活動などに積極的に参加しています。

「単にクラブの中で訓練するだけでなく、実際に勉強したものを試すことで、より一層の自己啓発ができ、また、自分を生かす方法が見えてくる」と、ある会員が云っておりました。

そして、それが、社会還元に役立てば、ほんとうに素晴らしいことだと思います。

## 国際的活動

I L C (名古屋国際婦人クラブ)元会長 — 新木昌子。 国際ソロプチミスト名古屋元会長 — 鈴木宏子。 日・英座談会の司会 — 松井葵。 国際協力事業団 — 加藤倫子、松田公代。 アムネスティインターナショナル — 小菅あけみ。 アフリカ協会 — 石井夏子。 国際児童文庫 — 柴田ひさ。

留学生基金など、主にアジア・アフリカとの息の長い国際交流 — 横井俊子、カウンスルNo.1会員有志。

**地域・奉仕活動**

病院内に「愛の図書館」を企画創設し運営のお世話 — 新木昌子。 家庭裁判所家事調停委員 — 高柳恭子。 食品会社モニターの会の司会運営 — 盛田純子。 市家庭教育推進委員として司会、まとめ役 — 豊島知子。 地域の各種行事の司会など — 村本かをり。 地域婦人勉強グループ「スコープ21」発起人、毎月一回プログラムを計画 — 大松町子。 自治会長 — 早田祐子。 県婦人団体 — 小谷野絹江。 教会 — 大谷純子、小菅あけみ。 民生委員、おもちゃライブラリー — 柘植法子。 土浦友の会 — 柴田ひさ。

「芦屋レディスセミナー」を創立、毎月一回教養セミナーを開催 — 江藤万里子、三宮晶子、白江圭穎子、山本須奈見。

ゲストスピーカー — 木下あつ子、大野三恵子。

受賞 ITC活動を認められて — 高柳恭子。 婦人会等の活動で — 鈴木令子。

**朗読奉仕**

老人病院で朗読奉仕を継続 — 盛田純子、鈴木宏子、鶴飼恵津子。

「源氏物語」(抜粋)の読みつなぎを約120分のテープにまとめ収録。市社会福祉協議会、市立図書館、視覚障害者奉仕グループに寄贈。今年度は芥川龍之介の作品を予定 — 朗読研修山陰地区33名。

**学芸・文化活動**

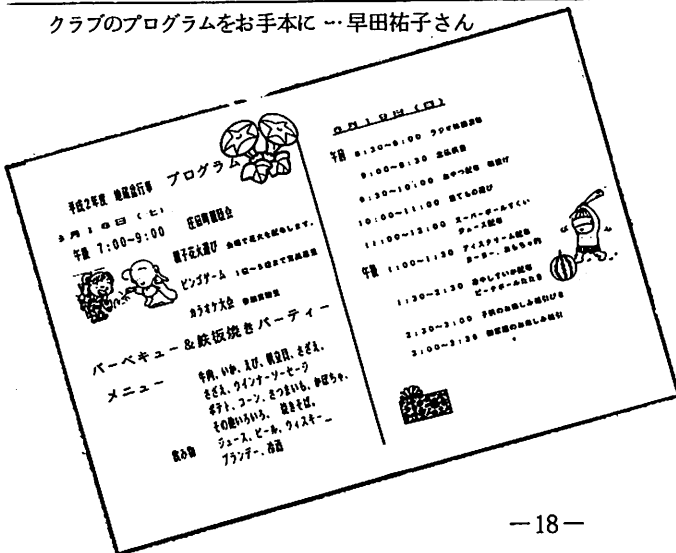
語学インストラクター、社会教育講座講師 — 久保祐子。 能・狂言関係の講座の企画・司会・講師・相談役を勤め、「名古屋能楽鑑賞会(会員430名)」を設立し普及活動他 — 岩田はるみ。 高校教師 — 戸村玲子。 「京都からの情報発信」メンバー — 大野三恵子。

お寄せいただいた方々は以上ですが、まだまだ日本リージョンには、地域・PTA・教育界・学界・医学界・経済界・芸術界など各方面でご活躍の方々が多くいらっしゃいます。

この企画でもあらためて、ITC訓練を基にした会員のご活躍ぶりがよくわかり、ITCを誇りに思いました。

順不同、敬称は略させていただきます。

クラブのプログラムをお手本に — 早田祐子さん



# 哀 悼

## In Memory

八 代 ふゆ子様

I T C 歴 34 年 終 身 会 員

クラブ、カウンスルの各役職を経て、第5期リージョン会長としてご活躍。日本リージョンの発展に貢献されました。



春にさきがけて 凜と咲く

梅の花のように

八代ふゆ子様は 日本の I T C

発展の礎を お作り下さいました

会員一同 永くそのご功績を称え

感謝を忘れないこととごぞいましょう

心から ご冥福をお祈りいたします

日本リージョン会長 広瀬 忠子

### 弔 辞

2月3日、ひそかに恐れていました日がとうとうやって来ました。あなたの逝去のお知らせを聞いた時、私はあふれる涙をおさえることができませんでした。

まさに才色兼備そのもののあなたは私たち I T C 日本リージョンの模範的リーダーで、私始め多くの会員の憧れの的でした。あなたはまるで高い山の頂上にある、美しく輝いている、静かな湖水の様な方でいらっしゃいました。ほんとうに賢明な方で、おだやかでありながら自分をしっかりと持っていらしたあなたはどんな問題に対しても公平で適格な判断をして下さいました。

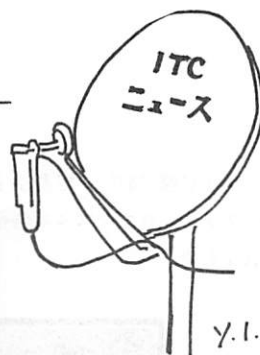
もう30年以上のおつき合いです、八代さんは何時も変わらない暖かいお心遣いを持って接して下さいました。私はほんとうによき友に巡りあって幸せでした。あなたと共に過しました楽しかった日々ことや、I T C の発展のためお互いに一生懸命に助け合いながら問題を乗り越えた事など、今はそれらの思い出が次々と走馬燈のように頭に浮かびます。

1987年、八代さんのお好きな言葉「心に太陽を、唇に歌を」のテーマで、I T C 日本リージョンの年次大会を神戸市で開催しました。八代さんの会長としての本当にご立派な態度、また、内からしみ出る美しさは今でもありありと甦って一生忘れることはございません。

ご病気の間でも、ほんとうに前向きの姿勢で回復を信じながら病気と戦っていらっしゃいました。そして私が困った時など、ご相談しますと逆に激励して下さいました。私は何のお力にもなれず、今このようにお別れ申し上げることになりましたのは、ただ残念で、残念でいたしかたございません。

八代さん、素晴らしい数々の功績をのこされたあなた、そして何時も誠実でお優しくあったあなたのことは何時までも心の中に生き続けるでしょう。これからは心と心の会話を通して私たちのことを見守ってくださいます。ほんとうに公私ともに色々とお世話になりました。有難うございました。どうぞ、安らかにご永眠なさいませよう心よりお祈り申し上げます。

友人代表 新 木 昌 子 (名古屋クラブ)



にわかモデルは知性派熟女

performance パフォーマンス



表現力に欠け、何を考え  
ているのかわからないと外  
国人から不気味がられる  
日本人。国際化の時代に  
あって考えねばならない  
が、そんな課題を軽くクリ  
アした元氣ハジラツの活躍  
人方がいる。

話し方や伝達技術を磨  
いて、国際感覚やリーダ  
シップを養う世界的な教育  
・訓練組織、ITC(本部・  
アメリカ)の国内支部の例  
会が先月末、兵庫県西宮市  
で行われた。

セズ会員が集合、祝辞を白  
本リージョンの広瀬忍志全  
長が「どこかの国の大統領  
に立たせ同じ訓練を受けて  
いたなら、ミサイルなんか  
飛ばさなかったでしょう  
に」と中東の空を張り男  
をテクリと皮肉れば、屋敷

Everyday

文と写真  
池田 年男  
(大阪支局)

では同僚節子・兵庫県知事  
夫人が乾杯の音頭をとっ  
た。  
例会のたびに表現力を試  
すイベントを行うのだが、  
今回のテーマは「はなをわ  
かに表現」を以て纏めて「阪  
神」「六甲」「宝塚」など  
7つのジャンルのメンバーによる  
ファッションショーがあっ  
た(写真裏)。ファッション  
ショーを身に着けるた  
けでなく、解説の仕方を勉  
強するといふもので、ロマン  
ティックな対案。にわかモ  
デルたちのパフォーマンス  
が拍手喝采(かっさい)を  
呼んだ。  
言葉、イメージで、ま  
ます「あつた」という女  
性ならではの遊び心。一遊  
びは一番好き。でも一番難  
しい。心のゆとりを高い知  
性が必要で、「上司会議」  
洗練された「お遊び」の世  
界にもっと入れる素直思

世界日報(1991.2.5)

◇ 変 更

カウンシルNo.2 第3回例会 会場 西宮神社会館 → 神戸外国クラブ  
閉会時刻 15:00 → 15:30  
カウンシルNo.6 第4回例会 例会日 7月6日 → 6月29日(土)

編 集 後 記

- ・会報2号と3号の間で戦争が始まり、終わりました。
- ・その間、世界中の関心は中東の湾岸に集まり、ことの移り変わりに一喜一憂しました。
- ・茶の間のテレビからも、あふれるほどの報道がもたらされ、それを見てさまざまな感慨を抱きました。 「意思の伝達」ということもその一つでした。
- ・外国のごく普通の人々が、街角のマイクの前で質問に答えて、自分の言葉で理路整然と意見を述べている。時にはそれが魅力的ですらある、その姿に彼我の落差を痛感しました。
- ・しっかりした意思を持つこと。そしてそれをよりよく伝えること。これからの課題です。
- ・もうすぐ6月！ 宝塚でおあいしましょう！！

編集者：村上美耶子(関西クラブ)  
スタッフ：藤原 栄子(六甲クラブ)  
：長縄智恵子(関西クラブ)  
：杉山満佐子(関西クラブ)  
カット：井上 保子(阪神クラブ)



印刷：イシタイプセンター

